12/23 赤旗

東海・北陸信越のページ

戦争法廃止へ各地で行動

学問の自由守るには

津市立三重短大で学習会

三重県の津市立三重短期大学で19日、教員有志による市民公開の安保法制学習会が開かれました。10月、11月の開催に続く第3回。津市議会12月定例会で自民党や自民系議員が一般質問などで教員有志の活動を「政治的行為だ」などと問題視したことを受けて今回は、大学の自治と学問の自由が侵害された戦前の「滝川事件」を主要テーマとして開かれました。

茂木陽一教授（歴史学）が「滝川事件」の概要や当時の政治情勢を解説。事件の教訓として、防波堤としての大学自治が失われることで、学問研究の自由へのむき出しの攻撃が行われることを指摘しました。

茂木氏は、戦争と自由な研究への弾圧とが密接な関係にあることも指摘。学問の自由を守るために市民と連帯する必要があること、戦前と違って今はその条件があることを強調しました。

三宅裕一郎教授（憲法学）は安保法制で民間が動員される事態を詳細に報告。藤枝律子准教授（行政法学）が安保法制と地方自治の関係を、馬場啓丞弁護士が秘密保護法の問題を取り上げました。

戦争法廃止を求める富士宮2万人署名スタート集会に参加した会場いっぱいの市民＝19日、静岡県富士宮市

市民全体の運動に

静岡・富士宮 スタート集会

広げよう 2000万署名

静岡県富士宮市で19日、戦争法廃止を求める2000万署名の「富士宮2万人署名スタート市民集会」が開かれました。主催は「憲法守ろう！富士・富士宮市民の会」。市民文化会館には80人が参加し、満席となりました。

呼びかけ人を代表して長沢正義氏（富士山ピース&アートフェスティバル実行委員長）があいさつし、戦争法廃止の署名運動を市民全体に広げていこうと呼びかけました。

市民の会代表の小長谷保氏（前県弁護士会会長）が講演。市民の会の「安保関連法の廃止・立憲主義を取りもどす」アピールを読み上げ、署名は立憲主義を市民に理解してもらう運動と説明。「数を集めて終わりではなく、戦争法に賛成した議員の落選に結び付けていく運動として取り組み、来夏の参院選で国民の意思を示そう」と訴えました。

各界・分野から5人が発言し、戦争体験や署名運動での体験を交流しました。定例行動日を決めた新婦人メンバーは、署名の反応がとてもよく、意見が分かれた家族が庭で討論会になった場面に出会ったこともあったと報告しました。

日本共産党（2人）、民主党、保守系（2人）の5人の現職市議が紹介され、同じ志をもつ人たちが共に力を合わせてがんばろうと意思統一しました。

事務局から柳澤協二氏（元内閣官房副長官補）、小林節氏（慶応義塾大学名誉教授）を迎え1月、2月に連続講演会を行うことと、毎月定例のスタンディング、19日行動の集会を継続していく方針が提起されました。

横断幕でにぎやかに

党静岡県委 いっせい宣伝

通行人の激励も

日本共産党静岡県委員会は21日、戦争法廃止の国民連合政府実現を訴えるいっせい宣伝を36カ所で行いました。

静岡県庁前には森大介・県書記長、河瀬幸代・静岡地区副委員長、鷹匠、中央、城東、桜町の各支部員らが参加。のぼり、プラスター、横断幕などのにぎやかな宣伝に出勤・通学途中の通行人が注目し、激励もありました。

森、河瀬の両氏は、戦争法の強行採決から3カ月が過ぎたが国民の怒りは続いていると紹介。「あらゆる分野で暴走する安倍政権を退陣に追い込むため来夏の参院選で必ず躍進します」と訴えました。

ビラを受け取った男性（60）は「国民がよくわからないうちに強行採決したことは、多くの人が良くないことだと思っている。署名運動や国民連合政府の提案があることはとてもいいこと」と話していました。

平賀高成県議が宣伝していた浜松駅前では、高齢の男性から「戦争法はもちろん、社会保障も良くするため頑張ってほしい」と声援がありました。

静岡駅前の宣伝には島津幸広衆院議員が駆けつけました。

東海・北陸信越総局☎052(262)0476／北陸信越支局☎026(264)6073
FAX052(264)0265／FAX026(264)6074

思いを荷台にのせて

憲法守れと軽トラデモ

長野・立科町

軽トラックの荷台に大きなボードを掲げ、パレードする人たち＝20日、長野県立科町

長野県立科町の「9条を守るたてしなの会」は20日、8台の軽トラックに思い思いのメッセージを掲げ、2回目のパレードを11人で行いました。

荷台いっぱいにボードを仕立てて「9条は世界の宝」と筆で大書した車も。クリスマス間近とあって、キラキラモールも飾って、全員が赤い帽子やキラキラ帽子姿、二川透代表はサンタの衣装です。

「安保法は憲法違反」「戦争したがる総理はいらない」「戦争したがる議員はいらない」「平和の名前で戦争するな」などとコールし、「民主主義ってなんだ？」「これだ！」、「国民主権ってなんだ？」「これだ！」と掛け合いをしながら進みました。

元気な声に、道行く車からクラクションが鳴らされ、通行する住民からも「がんばれ！」の声が飛びます。集落内を回ると、窓を開けて手を振る人、畑の片づけをしていた人も振り向いて手を振ってくれるなど、大きな反響がありました。

午前は青空に浅間山が映える絶好のパレード日和の中を、午後は収穫済みのリンゴ畑や土起こしの済んだ田の間を進みました。

反省会では「新春パレードもいいね」「選挙までにあと2、3回はやりたいよね」と、全員が元気いっぱい。戦争法廃止の2000万署名にも積極的に取り組んでいます。